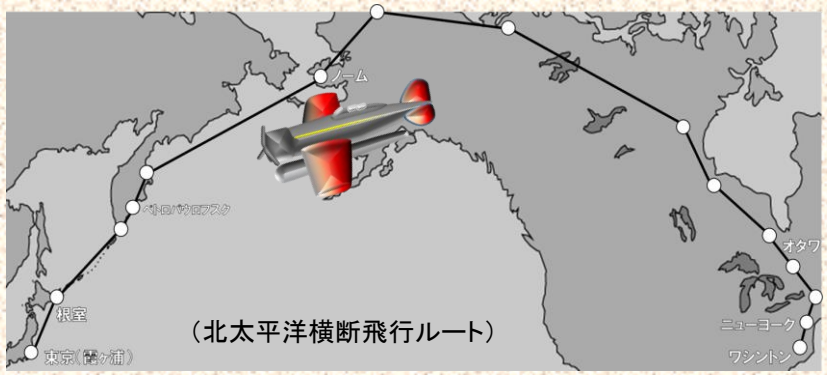
国後島・択捉島に不時着したリンドバーグ夫妻と島民の交流



（北太平洋横断飛行ルート）

（リンドバーグとアン夫人）

昭和六年、飛行家で有名なリンドバーグがアン夫人と北太平洋航空路調査のため、愛機シリウス号で、ワシントンを出発し、アラスカから千島列島を経由し、根室を目指しましたが、濃霧に阻まれ八月二十二日に択捉島紗那沼、二十三日には国後島東沸アンノロ沼に不時着水しております。翌二十四日、無事に根室に到着しましたが、不時着した択捉島・国後島での島民の温かい歓迎ぶりが当時の新聞などからうかがえます。

択捉島での交流（８月22日～23日）

【８月22日】

17:05 ・択捉島紗那沼に不時着水
・村民は我先に湖畔にかけつけ、たちまち黒山のような群衆となった
・小舟にリンディ夫妻を乗せ、法伝寺に案内し、休憩
・近藤紗那警察署長らが出迎える
・臨時村議会で歓迎会を決定

20:00 ・リンディ夫妻、徒歩で紗那村入り

21:00 ・紗那村役場（公会堂）で官民歓迎会

21:40 ・ラジオニュース「熊に襲撃される憂いあり」に微笑むリンディ夫妻

22:00 ・歓迎会終了後、大地村長らと倉澤駅逓（旅館）へ
・近藤署長と紅茶で歓談

23:00 ・就寝

【８月23日】

８:00 ・ドテラ姿で窓から空を仰ぎ、天気を心配するリンディ
・朝食「サケの塩焼き、大根の味噌汁、ミルク」
・リンディは紗那沼で愛機を修理
・アン夫人はコバルト色の洋服に着替え、東京の学生 金子進氏の案内で散策
・雨のため駅逓に戻り、蓄音機で「奴さん」「かっぽれ」を聴く
・駅逓の人から日本語を学ぶ
・雨上がったので、再び散歩へ

11:00 ・駅逓に戻る

11:45 ・落石無線局から「根室天気良し」と入電
・夫妻は昼食をとらずコーヒー１杯を飲む
・駅逓の人々と記念写真撮影、サインに応じる
・紗那警察署前で官吏と記念写真撮影

13:00 ・紗那警察署から紗那沼へ出発
・湖畔で愛機を警戒した消防組員らと握手

13:50 ・リンディ夫妻、愛機シリウス号に乗り込む

14:25 ・村民に見送られ、紗那沼を離水

（倉澤駅逓にて）

（紗那警察署前にて）

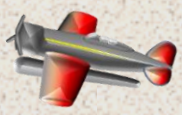
※当時の新聞記事などから作成

エピソード

国後島・択捉島に不時着したリンドバーグ夫妻と島民の交流　その二

エピソード

国後島での交流（８月23日～24日）



【８月23日】

17:35
- 国後島東沸アンノロ沼に不時着水
- 湖畔に来ていた鮭鱒ふ化場国後支場の小田部場長、中下職員らが小舟で向かう　リンディが差し出した地図により当該地を教える
- リンディ機は湖畔の柳の木に係留　その木は「リンドバーグの柳」と呼ばれ、その後、東沸の名所となった
- ふ化場職員らは採卵小屋に戻り、中下職員は本件を知らせるため、馬を走らせ東沸市街に向かった

18:30
- リンディ夫妻が採卵小屋を訪問
- リンディはノートの切れ端に魚の絵を描き、食べるそぶりを示したので、空腹と分かり、小田部場長が鱒を焼き、ご飯とイモ煮を振る舞った
- アン夫人は「おいしい、ありがとう」と日本語でお礼を言った

【８月24日】

早朝
- 昨晩、現場に駆けつけた東沸郵便局員清水氏は、採卵小屋で一晩かかって書いた手紙とビールを手渡し、リンディと乾杯

6:27
- 落石無線局へ連絡「あと一時間以内に出発し根室に向かう」

7:20
- 東京日日新聞記者が現場に到着　出発直前のリンディ夫妻に挨拶

7:23
- アンノロ沼を離水

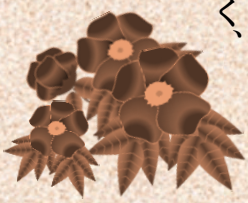
見送ったのは村民約10名と記者１名

※当時の新聞記事などから作成

ジャパン・ローズ【択捉島紗那】

宿のまわりは島特産の浜梨（ハマナス）の花が真盛りで、とりわけアン夫人は気に入ったらしく、私が名付けた「ジャパン・ローズ」を連呼して、出発まぎわまでこよなく賞でる様子であった。

『還れ北方領土』（昭和四十五年四月発刊）
高城重吉著（元千島歯舞諸島居住者連盟理事長）より



リンドバーグの柳【国後島東沸】

リンドバーグ夫妻が愛機を駆って太平洋横断の途中不時着して一泊したアンノロ湖といわれた湖で、当時愛機を岸の柳に繋いで一夜を過ごした場所で「リンドバーグの柳」といわれており、今でもこの柳は健在していると信じております。

『北方領土　國破而無山河　東沸物語』
（昭和五十三年十月発刊）
清水虎亀與著（元東沸郵便局員）より